

## 第135回運輸政策コロキウム開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきまして、下記のとおり「第135回運輸政策コロキウム」を開催致します。つきましては、ご関心をお持ちの皆様のご出席を賜りますよう、ご案内申し上げます。

また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

会場の都合上、入場者数には限りがございますので、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込みくださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

### 「第135回運輸政策コロキウム」

日 時：2020年1月30日(木)  
16:00～18:00 (開場15:30)

会 場：運輸総合研究所 2階 大会議室 (日比谷線神谷町駅徒歩1分)

テ ー マ：『アメリカ航空産業の現状と今後の展望 /  
米国の空港混雑問題とスロット調整方式』

講 師：坂本 弘毅 ワシントン国際問題研究所 次長  
高木 大介 ワシントン国際問題研究所 研究員

コメンテータ：遠藤 伸明 東京海洋大学 海洋工学部 流通情報工学部門 教授

概 要： 米国航空会社の航空輸送需要及び供給量の動向、営業収入・費用・損益の動向、収入構造、人件費・燃料費など費用構造に関するデータを整理・分析するとともに、今後のアメリカ航空産業の見通し等について議論を行う。また、米国では、好調な経済情勢等を反映して航空需要が過去最高の水準に増大する中、各主要空港において混雑・遅延が発生している。米国の主要空港における混雑の状況、各混雑空港におけるスロット調整方式の現状等を整理・把握するとともに、米国の空港におけるスロット調整方式の今後の展望等について議論を行う。

参加費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/collo135>

(申込期限：1月27日(月)まで)



## 講師・コメンテータ紹介：

### 講師 坂本 弘毅

ワシントン国際問題研究所 次長



1997年東京大学経済学部経済学科卒業、2003年米国コロンビア大学大学院・行政学修士。1997年4月に旧運輸省に入省し、国土交通省航空局安全部安全企画課・課長補佐、総合政策局国際企画室・国際交通交渉官、大臣官房会計課・企画調査官、内閣府地方分権改革推進室・企画官等に配属。2017年4月に現在のポストに着任し、航空分野を中心とする米国の運輸・観光分野の政策や最新動向について調査・研究を実施している。

### 講師 高木 大介

ワシントン国際問題研究所 研究員



2005年中央大学大学院法学研究科公法専攻博士前期課程修了、同大学から修士（法学）授与。2005年4月に成田国際空港株式会社入社。事務系総合職として、滑走路延伸事業に係る空港周辺自治体や地元住民との調整及び折衝、社内法務実務及びコンプライアンスの啓発、韓国仁川国際空港公社への研修出向、旅客ターミナルビルの施設使用料等の算定及び徴収管理、任用・採用等の人事業務等に従事。2018年10月より現在のポストに着任し、北米を中心とした欧米の航空分野及び観光分野における政策や最新動向について調査を実施している。

### コメンテータ 遠藤 伸明

東京海洋大学 海洋工学部 流通情報工学部門 教授



慶應義塾大学経済学部卒業、ジョージワシントン大学経営大学院修了、Ph.D.取得。1997年 東京商船大学（現在の東京海洋大学）講師、2011年東京海洋大学海洋工学部教授、現在に至る。日本海運経済学会論文賞、International Conference of Asian Shipping and Logistics Best Paper Awardを受賞。代表的な著書は『IT時代と国際経済システム』有斐閣（共著）、『交通経済ハンドブック』白桃書房（共著）、『国際海運と国際物流の新潮流』山縣記念財団（共著）など。航空政策研究会理事。専門分野は国際交通論、国際経済論。

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

お問い合わせ：

一般財団法人運輸総合研究所 国際部（担当：渡邊、山脇、金塚）  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（虎ノ門マリビル）  
TEL：03-5470-8420 FAX：03-5470-8419  
E-mail：[jitti@jterc.or.jp](mailto:jitti@jterc.or.jp) HP：<https://www.jterc.or.jp>

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION